## 国見上野台応急仮設住宅

県立保原高校美術部の皆さんから、談話 室の壁面に素敵な絵がプレゼントされまし た。美術を通して元気を発信したいと震災 の年から活動する同部の皆さん。2年前に は大木戸住宅にも楽しい絵を描いてくれま した。山田茜さん(3年)はヤマユリをい きいきと描き「故郷を思い出してもらえた ら」と笑顔を見せていました。



Qよく見ると女子高生では ない人が混じっています! 分かるかな~



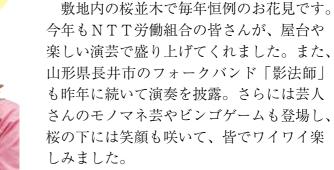
「描く側も見る側も楽しめる絵を」思わず笑顔に



庄司ヨネ子さん (伊丹沢)









談話室のテラスがステージです。「影法師」の演奏

「ゆかいなしあわせカフェ永井川



伊達東応急仮設住宅

プロに負けじとNTTグループ会社の方のモノマネ

体がサポートしています

## 相馬大野台応急仮設住宅

東京都三鷹市の造園会社「マルキ」が仲 間と共に立ち上げた「ハスの輪プロジェク ト」から、鉢植えのハスが届きました。ト ラックが到着すると、住民の皆さんも協力 して鉢を配置。場所が決まると、早速ホー スを持ち寄り鉢を水で満たしました。二千 年前の古代ハス「大賀ハス」の他、白やピ ンクの花が見頃を迎えるのは7月頃です。



ハスをきっかけに会話がはずむひととき





避難先でもこうして集まれると心強いですね



活動内容を皆で相談。笑顔がこぼれます

借り上げ住宅等に住む皆さんの 「しあわせカフェ」は村と協力団

「2、3人からでもいいから集まりた いなあ」という佐藤俊雄さん(草野)の 発案で、福島市永井川周辺に住む村民に 村がお知らせを出し、永井川集会所で初 めての顔合わせを行いました。予想を上 回る20人が参加して、「村の人の顔が見 られて幸せ」「これからよろしく」と笑 顔を交わし、月1回の活動をスタートさ せました。



十川トシ子さん

広報 いたて 平成28年5月号 20 平成28年5月号 広報 いいたて